

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) JFEロックファイバー株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1丁目1番地の1	
本票作成	部署名： 製造部				
主たる業種	分類コード	21	業種名： 窯業・土石製品製造業		
事業の概要	ロックウール・同製品製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	JFEロックファイバー		岡山県倉敷市水島川崎通1丁目1番地の1	
特定事業者の該当要件	: <input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度 (5 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 △ 9.8 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準								○
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 6 年度)			目標年度 (令和 11 年度)						
	29,449 t CO ₂			33,800 t CO ₂						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 6 年度) の排出量						
	①	JFEロックファイバー		29,449 t CO ₂						
				t CO ₂						
				t CO ₂						
				t CO ₂						
				t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量148.1[千t]	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		207.878 t CO ₂ / (千t)	228.201 t CO ₂ / (千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 6 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

ロックウールの原料はJFEスチール西日本製鉄所倉敷地区の2,4高炉溶融スラグを主に使用しており、溶融スラグ供給量不足時に冷スラグを使用している。2028年度に2高炉が電気炉に転換されるにあたり、2028年度から溶融スラグは4高炉1基のみとなり、溶融スラグ供給量減少・冷スラグ使用量増加が見込まれるため、対2024年度で4,800t-CO₂/年増加を見込む。

なお、設備更新等によるエネルギー効率向上の取り組みを実施し、溶融スラグ不足による冷スラグ増分を除くと450t-CO₂/年削減する計画とする。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・毎月1回、社内収益改善会議にて電力原単位の計画に対する達成状況をフォロー
- ・半年毎に社内利益計画策定において電力原単位の計画を見直し

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
JFEロックファイバー	(令和2年度実施分) ・電気炉内スラグ攪拌用窒素吹込量定量管理による放熱抑制：140tCO2削減 (令和4年度実施分) ・電気炉炉蓋へのモルタル塗布による放熱抑制：40tCO2削減 (令和5年度実施分) ・スラグ成分調整精度向上による過剰電力抑制：110tCO2削減 (毎年更新箇所選定して実施) ・工場内ヤード照明LED化：10tCO2削減

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
JFEロックファイバー	(令和7年度) ・500kVA、2,000kVAトランス用節電ユニット導入：360tCO2削減 ※対象トランスでの2024年度電力使用量10%削減（700MWh/年） ※2025年下期稼働のため、2025年度削減効果は180tCO2 ・電気炉炉蓋更新による放熱抑制：40tCO2削減 (毎年実施) ・工場内ヤード照明LED化：10 tCO2削減 ※毎年更新箇所選定して実施

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--